

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	帝塚山HUG 組		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や祝日、長期休暇などの学休日に楽しめるイベントを多数行っている。また、地域のイベントに参加したり、遠出をしたりと子どもたちが飽きないような活動プログラムを計画している。	季節に応じたイベントを行っている。夏休みは、川遊びに行くなど安全に配慮しながら、自然と触れ合える機会を作っている。また、地域で行われるイベントに参加したり交流のある他、デイとの合同のイベントを計画し行うなどさまざまな活動プログラムを準備している。	今後も子どもたちに楽しんでもらえるさまざまなプログラムを計画する。そのためには、スタッフからだけでなく子どもたちや保護者、地域の方からも情報を収集し、参加できそうなイベントを見つける。地域とのつながりなどを強化する。
2	子どもたちが通所を楽しみにしてくれている。2歳から中学生まで、年齢差はあるが一緒に活動している。様々な年代の子ども同士で関わる機会をもち、それぞれの成長に繋がっている。	安心して通所してもらえるように、スタッフ同士や保護者と密に連絡を取り合っている。特に年齢の低い子どもに対しては、食事・着替え・トイレなど生活に必要な支援を行っている。小さなことでも「できた」を増やし、保護者にも報告を行っている。	保護者との連携を深め、子どもたち一人一人が安心して通所できるように環境づくりをしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向け評価表のなかで、「わからない」の項目のチェックがある。	事業所内での取り組みや活動内容など、保護者に周知されていない。HPやSNSを通して発信はしているが保護者からの閲覧数は少ない。	HPやSNSについての周知を行う。契約時に案内を行ったり、紙媒体でのお知らせ配布時にHPなどのURLを記載する。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等がなく、父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等もない。そのため、保護者同士の交流の機会がなく、保護者同士の情報交換などの機会がない。また、きょうだい向けのイベントの開催等もなく、きょうだいへの支援の機会はない。	希望する保護者が一定数集まれば、検討するが、現段階で特に希望する保護者はいない。	年に1度親子参加型のイベントを開催している。その中で、保護者同士が交流している様子は見られるが、参加してくれる家族は限られている。保護者会等開催については、希望する保護者が一定数集まれば、検討するが、現段階で特に希望する保護者はいない。
3			